

人間中心主義から脱することで変わる世界のとらえ方
チェルフィッチュ × 金氏徹平 『消しゴム山』 東京公演開催！

2020/2021 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ

2021年2月11日（木）～2月14日（日）全6回

あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）

岡田利規による“エクストラ音声ガイド貸出”や字幕付ライブ配信など、初のバリアフリー展開も



Graphic: Teppei Kaneuji Design: Werkbund

**人間のスケールを脱し、世界を見る目を更新する演劇
 人、モノ、時間、空間、言葉が、未知のすがたで現れる――**

チェルフィッチュは、美術家・金氏徹平と取り組んできた「消しゴム」シリーズの最新公演として、『消しゴム山』東京公演を2021年2月11日(木)～2月14日(日)にあうるすぽっと（池袋）にて開催いたします。

人とモノが主従関係ではなく、限りなくフラットな関係性で存在するような世界を演劇によって生み出すことはできるのだろうか？チェルフィッチュとコラボレーターである美術家・金氏徹平は、劇場版『消しゴム山』（2019年10月 KYOTO EXPERIMENT2019）、美術館版『消しゴム森』（2020年2月 金沢21世紀美術館）、日常空間版『消しゴム畑』（2020年5月～ オンライン）を通して、異なる形式の中で人とモノと空間と時間の新しい関係性を提示することを試みてきました。

今回の『消しゴム山』東京公演では、上演と合わせて聞くことでエクストラな消しゴム山が姿を現す“エクストラ音声ガイド貸出（骨伝導イヤホンの貸出、視覚障害の方優先）”や、子供や障害のある方のための“鑑賞マナーハードルの低めの回”を実施。また、日本初のバリアフリーと多言語で鑑賞できるオンライン型劇場『THEATRE for ALL（シアターフォーオール）』と連携してライブ配信を行うことで、広くバリアフリーに力を入れてまいります。

実験と試行錯誤を重ねて進化を遂げる『消しゴム』シリーズの最新公演に、ご期待ください。

作品概要：

演劇という人間のための営みを通して、人間とモノ、それらを取り巻く環境とがフラットな関係で存在する世界を生み出すことはできるだろうか。

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市。津波被害を防ぐ高台の造成工事は驚異的な速度で風景を人工的に作り変えつつあった。岡田利規がその光景を目撃したことから構想された「人間の尺度」を疑う作品は、彫刻の領域を拡張し続ける美術家・金氏徹平をコラボレーターに迎え『消しゴム山』として実現した。無数にモノの並ぶ空間で俳優はモノと新たな関係を構築し、それを目撃する観客もまた、世界を新たな目で見ることになる。

2019年10月の『消しゴム山』京都初演から1年。劇場からスタートした試みはさまざまな空間へと展開してきた。『消しゴム森』では美術館というモノのための空間に俳優が入り込み、モノとのパフォーマンスはさらなる進化を遂げた。その成果は『消しゴム畑』で俳優の生活空間へと持ち込まれ、日常の風景の見え方を変えた。再び劇場へと回帰した『消しゴム山』はどのような風景を描き出すのか。「消しゴム」シリーズの最新形。

バリアフリーの取組み 概要：

エクストラ音声ガイド貸出：通常回上演の構成要素に、ナレーション音声（作・演出：岡田利規の書き下ろしテキストを読み上げたもの）が重なる骨伝導イヤホンの貸出を行います。上演と合わせて聞くことで、エクストラな『消しゴム山』が姿を現します。（数量限定・当日劇場受付にて希望者にのみ貸出・視覚障害の方優先）

鑑賞マナーハードルの低めの回：客席でジッと静かに座っていることは観劇の基本的なマナー。でもそれが観劇のためのハードルに感じられてしまうこともあります。「子供がおしゃべりしちゃうかも」「障害があって上演中に休憩したくなるかも」など、演劇は観たいけど心配なことがあるという方にも気兼ねなく観劇いただくために、この回の客席では鑑賞マナーを少しだけゆるくすることにしました。

ライブ配信：2月13日(土)18:00および2月14日(日)14:00の回に、公演のライブ配信をバリアフリーと多言語で鑑賞できるオンライン型劇場THEATRE for ALL (<https://www.theatreforall.net/>)にて行います。詳細は1月上旬に公開予定、詳しくは特設ウェブサイトやSNSをご確認ください。

コネリング・スタディ@オンライン：「チェルフィッチュといっしょに半透明になってみよう」

チェルフィッチュの俳優たちに出会い、「消しゴム」シリーズで開発された演劇メソッド「半透明になる」ことを実験して、自分の部屋から映像作品を配信しよう！

講師アーティスト：米川幸リオン、ほか 開催日：2021年1月23日(土) 会場：ZOOM

コネリング・スタディは、上演の前後にワークショップなどを行うことによって、鑑賞体験を学びの場に変換するプログラムです。

“THEATRE for ALL”(シアター フォー オール)：

株式会社precogが、日本で初めて演劇・ダンス・映画・メディア芸術を対象に、日本語字幕、音声ガイド、手話通訳、多言語対応などのバリアフリー対応のオンライン型劇場です。2月から3月にかけて映像作品約30作品、ラーニングプログラム約30本を配信予定。現在、オープンを目指し、様々なアクセシビリティに対してリサーチ活動を行う「THEATRE for ALL LAB」を立ち上げ、障害当事者やその他様々な立場の視聴者、支援団体などと研究を重ねています。また、作品の配信に加え、鑑賞者の鑑賞体験をより豊かにし、日常にインスピレーションを与えるラーニングプログラムの開発に力を入れています。

THEATRE for ALL LABマガジン: https://note.com/theatre_for_all

THEATRE for ALLティザーサイト: <https://www.theatreforall.net/>

シリーズの変遷：

『消しゴム山』～劇場版

2019年 10月 5日（土）-6日（日）@KYOTO EXPERIMENT2019

2020年 2月 28日(金)-29日(土) @NYU Skirball Center

『消しゴム森』～美術館版

2020年 2月 7日（金）-16日（日）@金沢 21世紀美術館

『消しゴム畑』～日常空間版

2020年 8月 29日（土）-10月25日（日）@ロームシアター京都

2020年 5月23日（土）-@YouTubeにて不定期配信

https://www.youtube.com/channel/UC2_xlx5RN0_PrkY0dF8w7pw



（左上）『消しゴム山』 撮影：守屋友樹 提供：KYOTO EXPERIMENT事務局

（右上）『消しゴム森』 撮影：木奥恵三 写真提供：金沢21世紀美術館

（左下）『消しゴム畑』 at ロームシアター京都

（右下）『消しゴム畑』（YouTubeより）

チェルフィッチュ主宰・岡田利規（おかだ としき）

消しゴム山、というのは根本的に新しい演劇をつくるということに着手したいと考えたわれわれがつくって来た山ですが、〈根本的に新しい〉ということについてもう少し具体的に、どこを新しくしたいと思っているかというのを補足するならば、人間を中心にすえたナラティブの中で生きる人間のための・そんな人間にとっての問題とされていることを扱うための、容器としての演劇を、なにかそうではないものへとずらしていくというか拡張していくというか、そういうことがしたいと思ったのです。それは人間にとって、演劇の観客であることのできるフツーに考えたら唯一の存在であるはずの人間にとって、この先必要となってくることだろうとも思ったのです。



©宇壽山貴久子

1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家/小説家/チェルフィッチュ主宰。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。同年7月『クーラー』でTOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD2005一次代を担う振付家の発掘一 最終選考会に出場。2007年デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』を新潮社より発表、翌年第二回大江健三郎賞受賞。12年より岸田國士戯曲賞の審査員を務める。13年には初の演劇論集『遡行変形していくための演劇論』、14年には戯曲集『現在地』を河出書房新社より刊行。16年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシピューレのレパトリー作品演出を4シーズンにわたって務める。

美術家・金氏徹平（かねうじ てっぺい）

何処でも無い場所、何時でも無い時間、誰でも無い人、何でも無いモノ、これらを作り出すことは僕にとっても永遠のテーマですが、演劇という場にその可能性を感じています。それらを立ち上げよう、積み上げようとする事そのものが「消しゴム」シリーズであるとも言えるかもしれません。その最初の作品である「消しゴム山」は「森」を巡り、「石」を手に取り、「畑」を耕したことによって、変形して見えるかもしれません。同じ山でも見る場所や季節や天候によって、その存在感、距離感、スケール感が全く違って見えるように。



©川島小鳥

1978年京都府生まれ、京都市在住。2001年京都市立芸術大学在籍中、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（ロンドン）に交換留学。2003年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。現在、同大学彫刻専攻准教授。日常の事物を収集し、コラージュ的手法を用いて作品を制作。彫刻、絵画、映像、写真など表現形態は多岐にわたり、一貫して物質とイメージの関係を顕在化する造形システムの考案を探求。個展「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、2016）、「四角い液体、メタリックなメモリー」（京都芸術センター、2015）、「Towering Something」（ユーレンス現代美術センター、2013）、「溶け出す都市、空白の森」（横浜美術、2009）など国内外での展覧会のほか、舞台美術や装丁も多数。あうるスポットプロデュース「家電のように解り合えない」（2011）、KAATキッズ・プログラム2015おいしいおかしいおしばい「わかったさんのクッキー」（2015-2016）での舞台美術をはじめ、自身の映像作品を舞台化した「TOWER」（2017）では演出を手掛ける。

公演概要：

公演名 チェルフィッチュ×金氏徹平『消しゴム山』東京公演
(2020/2021 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ)

会期 2021年2月11日(木)～14日(日)
2/11(木) 19:00
2/12(金) 14:00 / 19:00
2/13(土) 14:00 ※鑑賞マナーハードル低めの回
2/14(日) 13:00 / 18:00

会場 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) <https://www.owlspot.jp>
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-5-2 ライズアリーナビル 2F TEL 03-5391-0751

料金 【チケット】1月9日(土)発売開始
一般：前売 ¥4,500/ 当日 ¥4,800
29歳以下：前売 ¥3,500/ 当日 ¥3,800
障害者割引：¥3,000(前売・当日同額、介助者1名まで無料)
豊島区民割引：¥4,000(前売のみ、豊島区在住・在勤・在学/要証明書提示)
消しゴム石セット券：[消しゴム石(¥2,000+税)+各チケット料金]より500円引き(前売のみ)※1
※1「消しゴム山」の戯曲や「消しゴム森」の上演記録、インタビューやコラムなど「消しゴム」が凝縮された書籍「消しゴム石」(¥2,000+税)と「消しゴム山」鑑賞チケットがセットになった「消しゴム」を深く味わえるお得なチケットです。

取扱い Peatix* <https://precog-tickets.peatix.com>
ぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:504665)
ローチケ <https://l-tike.com/> (Lコード:L35739)

**としまチケットセンター

電話:0570-056-777 窓口:としま区民センター1階
(電話 10:00-17:00 窓口 10:00-19:00/臨時休業あり)

<https://www.owlspot.jp>

*Peatixのみ：障害者割引、消しゴム石セット券、日英バイリンガル予約可

**としまチケットセンターのみ：豊島区民割引、車椅子席

お問合せ 株式会社precog(プリコグ) 担当: 黄木多美子、水野恵美、遠藤七海
Tel : 03-6825-1223 Email : info@precog-jp.net

出演者プロフィール：

青柳いづみ（あおやぎ いづみ）：2008年「三月の5日間」ザルツブルグ公演よりチェルフィッチュに参加。07年よりマームとジブシーに参加、以降両劇団を平行し国内外で活動。近年の主な出演作にチェルフィッチュ「部屋に流れる時間の旅」、金氏徹平「TOWER」、藤田貴大演出「みえるわ」（小説家・川上未映子との共作）、「CITY」など。漫画家・今日マチ子との共著「いづみさん」（筑摩書房）、朗読で参加している詩人・最果夕希の詩のレコード「こちら99等星」（リトルモア）が発売中。

安藤真理（あんど う まり）：2006年伊丹アイホールにて岡田利規ワークショップ&パフォーマンス「奇妙さ」に参加。以降2008年『フリータイム』、2009年『記憶の部屋について』（金沢21世紀美術館「愛についての100の物語」）、『ホットペッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶』、2011年『家電のように解りあえない』、2016年『部屋に流れる時間の旅』他に出演。

板橋優里（いたばし ゆり）：1993年宮城県生まれ。尚美学園大学卒業。ウングツィーファ、アナログスイッチ、小田尚稔の演劇などに出演。近年の主な出演作品は、美術手帖xVOLVO ART PROJECT 小田尚稔の演劇『善悪のむこうがわ』、チェルフィッチュ『三月の5日間』リクリエーション。

原田拓哉（はらだ たくや）：1981年大阪府生まれ。京都嵯峨芸術短期大学卒業。美術家。グループ展 2007年『Uchu』（gallery Den58）、2008年『one room3』（元立誠小学校）、2013年『What(n)ever』（コーポ北加賀屋）、2015年『DAYDREAM with GRAVITY』（ホテルアンテルーム京都）

矢澤誠（やざわ まこと）：1972年福島県生まれ。俳優。NODA・MAP、宇宙レコード、ニブロール、ミクニヤナイハラプロジェクト、カムカムミニキーナ、安藤洋子プロジェクト、遊園地再生事業団、敦x杏子プロデュースURASUJI、本能中枢劇団、カンパニーデラシネラ、オフロードウェイミュージカル『リトルショップ・オブ・ホラーズ』などに出演。チェルフィッチュには2010年『私たちは無傷な別人である』より参加。『地面と床』『スーパープレミアムソフトWバニラリッチ』に出演。

米川幸リオン（よねかわ こうりおん）：1993年三重県生まれ。父がイギリス、母が日本、のニッポン人。京都造形芸術大学映画学科俳優コースと映画美学学校アクターズコースを卒業。主な出演作品は、チェルフィッチュ『三月の5日間』リクリエーション、小森はるか+瀬尾夏美『二重のまち/交代地のうたを編む』、ミヤギフトシ『感光』、など。また、伯楽-hakurakuのメンバーとして、岩手県住田町での自主映画の企画～上映までも行なっている。

チェルフィッチュ：岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして1997年に設立。独特な言葉と身体の関係性を用いた手法が評価され、現代を代表する演劇カンパニーとして国内外で高い注目を集める。その日常的所作を誇張しているようなしていないようならだらとしてノイジーな身体性は時にダンス的とも評価される。 <https://chelfitsch.net>

Twitter：<https://twitter.com/chelfitsch> Facebook：<https://www.facebook.com/chelfitsch>

株式会社precog：国内外で実施される様々な『イベント』を成功に導くための企画や運営をおこなう制作会社です。観客やアーティストとともにワクワクするような化学反応を起こし、日々更新される“現在”の面白さを伝えていきます。precogならではのネットワークやリレーションシップを活かし、多角的な視点からのリサーチを重ねることで、作品や上演の質を上げ、プロジェクトの同時代性や事業の継続性を追求し続けています。日常にある“表現”に価値を見出し、国際的なシーンや地域コミュニティと繋がり、教育や福祉を視野に入れて、“表現”の未来をつくります。 <https://precog-jp.net>

画像一式：<https://drive.google.com/drive/folders/14c91GQG-FpbNoxAvgzcVf7acZ15ioTKI?usp=sharing>

※画像ご使用の際は、本リリースの通り、クレジット表記をお願いいたします。

一般のお問合せ：株式会社precog（プリコグ）担当：黄木多美子、水野恵美、遠藤七海

Tel：03-6825-1223 Email：info@precog-jp.net

6

報道関係者の問合せ：PR 村上晴香 Tel：090-5074-2320 Email：murakami.precog@gmail.com

クレジット：

作・演出：岡田利規 セノグラフィー：金氏徹平

出演：青柳いづみ、安藤真理、板橋優里、原田拓哉、矢澤誠、米川幸リオン

衣裳：藤谷香子 (FAIFAI) 照明：高田政義 (RYU) 音響：中原楽 (ルフトツーク) 映像：山田晋平

技術監督：鈴木康郎 舞台監督：湯山千景 演出助手：和田ながら 英語翻訳：アヤ・オガワ

プロデューサー：黄木多美子 アソシエイト・プロデューサー：田中みゆき

(東京公演)

エクストラ音声ガイド貸出 声：太田信吾

舞台監督：川上大二郎

プロダクションマネージャー：水野恵美

制作・広報デスク：遠藤七海、佐藤瞳

・アクセシビリティ制作

プロデューサー：兵藤茉衣 プロダクションマネージャー：和田ながら

・コネリング・スタディ

ディレクター：臼井隆志、中村茜 プロダクションマネージャー：栗田結夏

・ライブ配信

ライブ配信ディレクション：DrillBros (ホンゴウタカシ+イトウユウヤ)

ライブ配信テクニカルサポート：岡本彰生 (ネーアントン合同会社)

機材協力：株式会社ハーツ

プロダクションマネージャー：土屋光 (SCOOL)

広報：村上晴香 広報ライティング：山崎健太

票券：谷津有佳

グラフィック：金氏徹平

宣伝美術：Werkbund

ウェブサイト制作：林洋介 (HAUS)

企画制作：株式会社precog

製作：一般社団法人チェルフィッチュ

共同製作：

〈消しゴム山〉 KYOTO EXPERIMENT、Wiener Festwochen、Festival d'Automne à Paris、Künstlerhaus Mousonturm Frankfurt

〈消しゴム森〉 金沢21世紀美術館

協力：コネリングスタディ/山吹ファクトリー、急な坂スタジオ、京都市立芸術大学、京都芸術センター制作支援事業

本プロジェクトは、『消しゴム山』（初演：2019年10月KYOTO EXPERIMENT）、『消しゴム森』（初演：2020年2月金沢21世紀美術館）の両バージョンからなる。

[公演事業]

主催：一般社団法人チェルフィッチュ、株式会社プリコグ

共催：公益財団法人としま未来文化財団 (あうるすぽっと)

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

[鑑賞サポート事業]

文化庁委託事業「令和2年度障害者による文化芸術活動推進事業 (文化芸術による共生社会の推進を含む)」

主催：一般社団法人チェルフィッチュ、文化庁

共催：公益財団法人としま未来文化財団 (あうるすぽっと)

[関連企画：教育普及事業「コネリング・スタディ」]

主催：株式会社precog 山吹ファクトリー

助成：公益財団法人セゾン文化財団

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金

[関連企画：オンライン配信事業]

令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業『文化芸術収益力強化事業』

バリアフリー型の動画配信プラットフォーム事業

THEATRE for ALL

主催：文化庁、株式会社precog



チェルフィッチュ

